

プレゼンテーション技術演習（二）（2単位）

担当者氏名 下井 岳、和田 健太

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

本講義はプレゼンテーション技術演習（一）と同様に大学院生の所属研究室におけるセミナー、研究科主催研究発表会および関係する学会などでの研究発表を行った大学院2年次の実績に対して単位認定するものである。本講義はプレゼンテーションのための、研究データのまとめ方、スライド・ポスター作成、実際のプレゼンテーション、および質疑応答について実技を通して個々のプレゼン能力の向上を目指すものである。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

生物産業学

生命科学

口頭発表

ポスター発表

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	発表データのまとめ方、スライド・ポスター作成法（第1～4週、下井）	研究成果をまとめ、ポスターおよびオーラル等のスタイルの異なる発表形式に対応できる能力を習得する。	◎パワーポイント、作図ソフトウェア（イラストレーター、フォトショップなど）
2	プレゼンテーションおよび質疑応答（第5～8週、下井）	聴衆が理解しやすい説明方法、質疑応答の仕方等に重点を置き演習する。	の使い方をマスターしておく。
3	ポスタープレゼンテーション演習（9～11週、和田）	研究発表会で履修者が演習の成果に基づきポスター発表を行う。	◎個々の研究成果をまとめ、ポスター・スライドを作成し、発表ができる準備
4	オーラルプレゼンテーション演習（12～14週、和田）	履修者が実際にオーラルプレゼンテーションを行い、履修者でプレゼンに対する問題点を討議する。	をしておく。
5	総括（第15週、下井、和田）	これまでの演習の総括を行う。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

授業時にその都度配布する。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

授業時にその都度配布する。

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト）

演習、研究科主催のポスター研究発表会でのプレゼンテーションに履修者の学会発表実績を加味し評価する。

◆オフィスアワー

毎週月曜の12:00～13:00に研究室で質問等を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項